



成人って？

日本の社会では、二十歳になると「成人」とみなされ、「大人」として扱われます。つまり未成年には禁じられていることが許され、さまざまな権利と義務が与えられます。それは、思慮しりよかんべつ分別をもつて社会的責任を負える行動ができる年齢になったということでしょう。また、自分でできることでできないことがあると知って、つまり



一人では生きられないということを知って、だからこそ誰かに相談しながら、他者とともに生きようとすることもあります。

ただ、大人になることで失われがちなることもあります。思春期頃までは「なぜ」「どうして」(why)と問うことが多くあったのが、いつの間にか「どうやって」「どのくらい」(how)という問いしかもたなくなってしまう。つまり、学校でも職場でも家庭でも、都合良くうまくやるための問題は考えるけど、人間そのものや生きることそのものを問題にしなくなりがちです。



人間として歩み始める

「成人」を人間の完成とか人格の完成かと言われると、「いやいや、まだまだ未熟、未完成」という感じではないでしょうか。

私は、四十歳の時に自治体の成人式に招かれ出席したことがあります。その時に「成人とはどういうことだろう」とあらためて考えました。私たちは、生まれて以来、